

都市フォーラム21号

東北都市学会通信（通巻21号）

2009年8月11日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

目次

- ・東北都市学会 2009 年度大会のお知らせ
- ・2009 年度大会発表等の申込
- ・2009 年度第 1 回理事会の開催
- ・研究専門委員会の開催
- ・『研究年報』第 9 号の発行
- ・『研究年報』第 10 号自由投稿論文の募集
- ・会員の状況
- ・2009 年度会費納入のお願い
- ・事務局から

〔公開シンポジウム〕

テーマ 仙台・まちなかの集客パワーを考える

13:00 開場

13:30 開会

13:45 基調講演

「まちなか」の変容と「わたし」消費

講演者：高橋英博氏

（宮城学院女子大学教授）

14:45 パネルディスカッション

『仙台・まちなかの集客パワーを考える』

16:50 閉会

東北都市学会 2009 年度大会のお知らせ

学会 HP でもご案内していますが、東北都市学会 2009 年度大会は、9 月 26 日（土）・27 日（日）に、仙台市で開催することとなりました。26 日は公開シンポジウム「仙台・まちなかの集客パワーを考える」を開催します。27 日は会員の研究発表、会員会を開催します。会場は東北大学片平キャンパス片平さくらホールです。

会員の皆さんのご参加をお待ちしています。大会要項は次のとおりです。自由研究発表への申込もお待ちしています。

〔2009 年度大会開催要項〕

日程 9 月 26 日（土）～27 日（日）

会場 東北大学片平キャンパス

一片平さくらホール

〔プログラム〕

26 日（土）

13:00～17:00 公開シンポジウム

17:30～19:30 交流会

27 日（日）：予定

10:00～12:00 研究発表 1

12:00～12:30 会員会

12:30～13:30 昼休み

13:30～16:30 研究発表 2

2009 年度大会研究発表の申し込み

2009 年度大会における自由報告の発表を募集いたします。以下の発表申し込み要領、発表要旨作成要領ならびに発表要領をご覧の上、電子メールまたは同封の発表申し込みハガキに必要事項を記入し、学会事務局にお送り下さい。申し込みのフォーマットは東北都市学会HPにアップします。

〔発表申し込み要領〕

- ・発表の申し込みはできるだけ電子メールを使用して下さい。
matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp
- ・発表申し込みの締切り日は 8 月 31 日です（必着）。
- ・共同発表の場合は、すべての共同者の名前を書き、発表者には○印をつけて下さい。
- ・共同発表の場合、発表者は 4 人以内とします。
- ・取り消しの必要が生じた場合は、直ちに事務局に連絡して下さい。

〔発表要旨作成要領〕

- ・発表申し込み用紙を受理後、事務局では発表数、部会開設時間等を考慮したプログラム（案）を作成した上で、後日、発表申込

者に発表要旨作成の依頼をします。

- ・ 発表要旨は原則としてワープロを使用し、所定の書式でA4用紙2枚、共同発表の場合は4枚あるいは6枚に納めて下さい。
- ・ 所定の書式は東北都市学会 HP にアップしますので、そちらをご参照下さい。
- ・ 発表要旨は原稿をもとにダイレクト印刷をおこないますので完全原稿として提出して下さい。
- ・ 発表要旨の送付締切日は9月18日です。
- ・ 要旨の送付は電子メールを使用して下さい (matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp)。

[発表要領]

- ・ 発表内容は、都市に関する研究報告、調査研究報告、都市施策・まちづくり・地域づくり等の実践報告を主とします。
- ・ 個人発表の場合は発表時間15分、質疑応答5分とします(合計20分)。
- ・ 共同発表の場合は発表者の人数に拘わらず発表時間30分、質疑応答10分とします(合計40分)。
- ・ いずれも時間を厳守して下さい。
- ・ 発表の際には、発表レジュメあるいは発表資料をできるだけ用意して下さい。

2009 年度第 1 回理事会の開催

2009 年度の第 1 回理事会が 7 月 25 に東北文化学園大学医療福祉学部セミナー室で開催されました。次の議事が審議されました。

1. 平成 20 年度事業報告
 2. 平成 20 年度決算 (案)
 3. 平成 21 年度事業計画 (案)
 4. 平成 21 年度予算 (案)
 5. 本年度大会について
 6. 研究例会 Colloque、ミニ・コークについて
 7. 会員の状況
 8. 会長からの提案について
 - (1) HP での情報発信や年報編集作業などの事務分担について
 - (2) 年報リポジトリについて
 - (3) 次年度開催地について
 9. その他
 - (1) 他の学会との研究会レベルでの連携、合同開催の可能性について
 - (2) 名誉会員の設定について
- 理事会の議事録は、HP に掲載する予定です。

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

研究専門委員会の開催

5 月 13 日に研究専門委員会が開催されました。2009 年度大会開催地の高橋会員から提出された公開シンポジウムのテーマ、趣旨案について熱心に話し合いが行われ、検討結果をふまえた案を岩動専門委員会委員長と高橋会員が作成することとなりました。

『研究年報』第 9 号の発行

研究年報第 9 号の合併号が、8 月末日に発行されます。編集が大幅に遅れ、会員の皆さまにはご迷惑をおかけしました。

『研究年報』第 10 号自由投稿論文の募集

『研究年報』第 10 号の 2010 年 2 月発行を目指して、自由投稿論文を募集いたします。第 10 号掲載用の原稿の〆切は、10 月末日必着とさせていただきます。また、第 11 号への投稿も併せて募集しています。こちらの〆切は2 月末日必着とさせていただきます。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおして、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。

なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィールドノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」、すべてのジャンルで受け付けます。

投稿にあたっては、研究年報各号に掲載しております[研究年報投稿規程]にしたがって原稿を作成のうえ、下記の東北都市学会事務局『研究年報』編集委員会宛にお送りください。

なお、従来のような紙媒体による投稿に限らず、Word か PDF 形式の論文データを添付した電子メールによる投稿も受け付けます。

『研究年報』編集委員会

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
松本行真研究室気付 (編集担当)

Tel 0246-46-0850

E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

会員の状況

一般個人：83 一般学生：8 団体：7
(日本都市学会会員 98)
地域個人：22 地域学生：2
合計会員数 122

2009 年度会費納入のお願い

2009 年度の会費納入をお願いします。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。

なお、会費請求書を同封いたしましたので、郵便振替あるいは銀行振込をご利用ください。会費は次のとおりです。なお、今年度から東北都市学会費は個人、学生会員とも 1000 円下がっていますのでご注意ください。

一般個人会員

東北都市学会費 5,000 円 + 日本都市学会費 4,000 円 = 9,000 円

地域個人会員

東北都市学会費 5,000 円

一般学生会員

東北都市学会費 3,000 円 + 日本都市学会費 4,000 円 = 7,000 円

地域学生会員

東北都市学会費 3,000 円

団体会員

東北都市学会費 10,000 円 × 口数 + 日本都市学会費 4,000 円

【納入方法】

郵便振替 02250-2-42389 東北都市学会
郵便貯金口座 18140-27225001 東北都市学会
銀行口座 七十七銀行 仙台市役所支店
(普) 5253861 東北都市学会 会長 日野正輝

東北都市学会役員 (2008.10～2010.9)

会長 日野 正輝 【本部支部会長理事】
理事 北原 啓司 (青森)
理事 石沢 真貴 (秋田)
理事 佐藤 慎也 (山形)
理事 吉野 英岐 (岩手)：編集担当
【本部支部選出理事】
理事 千葉 昭彦 (宮城)
理事 初沢 敏生 (福島)

理事 吉原 直樹
理事 岩動 志乃夫：研究活動担当
理事 高橋 英博：渉外担当
理事 佐藤 信夫
理事 佐藤 直由：会計担当【本部監事】
理事 松本 行眞：庶務担当【本部常任理事】
理事 秋田看護福祉大学地域総合研究所
(担当：石川雅典)
理事 仙台市
(担当：企画市民局総合政策部
政策計画課)
理事 仙台エリアマーク事業協同組合
(担当：松本真明)
監事 阿見 孝雄・高橋 早苗
顧問 古田 義弘

事務局から

▼2009 年度大会は 9 月 26 日～27 日に開催されます。多数の会員の参加をお願いいたします。

▼研究年報が発行されました。今号は投稿論文、書評のほか「地域レポート」が加わっております。あえて制約をとらなかったために、各レポートには執筆者の想いが込められています。是非、ご一読ください。

お願い

今年度から学会運営の省力化とコスト削減をねらいとして、電子媒体やメールを積極的に活用したいと思いますので、皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また、学会 HP による情報発信も併せて行っていきます。

勤務先、連絡先住所、電話番号、メールアドレス等に変更がありましたら、事務局まで E-mail でお知らせくださるようお願いいたします。

都市フォーラム 21 号

東北都市学会通信

2009 年 (平成 21 年) 8 月 11 日発行

編集発行 東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30

福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科

松本行真研究室気付

Tel 0246-46-0850

E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

2009 年度東北都市学会 仙台大会
大会・シンポジウムのテーマ解題
「仙台・まちなかの集客パワーを考える」

都市が有する機能は、居住の場、経済活動の場、余暇の場といった実に多彩な側面を持っています。近年、わが国の都市がおかれている状況は、経済的側面、環境的側面、さらには都市間競争に加えてわが国の都市の人口は、増加から一転し、停滞を経て、大半の都市人口は、今後減少へと推移していくものとされ、新たなステージの展開が予想されます。このような状況下において、都市間交通網のアクセス向上、それに伴う都市間競争のさらなる激化、広域合併に伴う都市の広域化とそれに付随する諸課題の山積といった諸問題は、同時にこれまでとは違った形で都市をとらえ、新たな戦略の必要性に迫られていることも意味しております。

そこで本年は、広域中心都市・仙台市にスポットライトを当てて、「仙台・まちなかの集客パワーを考える」というテーマで検討を試みます。いうまでもなく仙台市には中央をはじめ、宮城県以外の東北地方の各県の経済的中枢管理機能の出先機関が多数集積し、支店経済都市として発展しています。このような都市としての特性が、出張族をはじめ交流人口を仙台にもたらし、国分町に代表される東北一のナイトタウンが、魅力の一端となり、また都市商業地には百貨店、専門店等多くの商業施設の集積がありますが、昨年駅前にはパルコの出店、郊外には2つのアウトレットモールが出店するなど、小売機能もますます充実をみせ、ほぼ東北一円を商圈とし、他県の県庁都市などとの都市間競争も激化してきました。

広域中心都市としての仙台を顧みて、街中心部と郊外地域との競合や相乗効果を比較し、街中心部での大型店間の競合や相乗効果、そして大型店と商店街との競合や相乗効果はどのようなものが期待できるのでしょうか。時代がモノ系からファッション系やサービス系へと変化し、それに対応した店舗の業種の変化、行政や市民による大小のイベントとしてのまちなかの意義、そしてまちなかの魅力や楽しみが増し、多様化する中でのメリットとデメリットを消費者・地元経営者・東京資本・行政といったさまざまな角度から考察してみたいと思います。

交流人口の多い仙台市に課せられた課題の一つに都市機能のさらなる充実があげられます。その際、仙台が東北地方の中心都市として役割を担うために、仙台の魅力を今一度確認し、さらに今後はその魅力を高めていくことがカギとなります。国際社会のなかの日本、そして日本のなかの東北地方、さらには全国規模の都市間競争といった多様なスケールが交差するなかで、仙台の集客パワーが、現在いかなる課題と可能性を有しているのかについて検討を行うのが本大会開催の目的であります。